

教育のひろば

VOL. 97

2026年(令和8年) 3月5日発行
品川区教育委員会
〒140-8715 品川区広町 2-1-36
☎ 3777-1111(代表)



▲区HPへのリンク

- 目次 ▶しながわ義務教育学校シンポジウムについて … P1
 ▶十四世喜多六平太記念能楽堂国登録有形文化財へ … P1
 ▶探究的な学習 … P2
 ▶品川区固有教員について … P2
 ▶しながわ地域TEAM ACTアート部設立 … P3
 ▶子ども読書活動推進計画(令和7年度~11年度)を策定 … P3
 ▶学校図書館と公共図書館は連携して子どもの読書活動を推進します … P3



- ▶特別支援教育推進計画の策定 … P4
 ▶すまいるスクールとは … P4
 ▶83運動にご協力ください … P4
 ▶学校改革を推進しています … P5
 ▶児童・生徒教育長表彰 … P6
 ▶全国大会出場助成 … P6
 ▶教育長杯 各スポーツ大会の結果 … P6



しながわ義務教育学校シンポジウムについて

令和8年1月23日に、五反田文化センター音楽ホールにて「しながわ義務教育学校シンポジウム」10th Anniversary」が開催されました。

区内に6校ある義務教育学校が制度化されて、令和7年度でちょうど10年を迎えました。全国に先駆けて、施設一体型の小中一貫校として開校した区の義務教育学校における、これまでの一貫教育の成果を広く伝えるとともに、今後の学校の在り方について考える機会となりました。

当日は、午前には日野学園にて授業公開が行われました。

午後のシンポジウムでは、区立義務教育学校6校による学校紹介、パネルディスカッション、基調講演を行いました。

学校紹介では、それぞれの義務教育学校の成り立ちや特色についての紹介動画が上映されました。



パネルディスカッションでは、日野学園の倉次里絵統括副校長がコーディネーターを務め、各義務教育学校の代表生徒をパネリストとして、「義務教育学校に通って良かったこと・これからの義務教育学校をこうしていきたい」というテーマで、意見を交わしました。

基調講演では、筑波大学教授樋口直宏氏をお招きし、区の一貫教育の歴史や意義についてお話しただくことで、今後の一貫教育について一層考えを深める機会となりました。



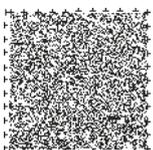
十四世喜多六平太記念能楽堂国登録有形文化財へ

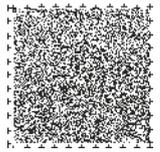


十四世喜多六平太記念能楽堂(上大崎4)が国登録有形文化財(建造物)に登録されました。

近代的外観の建物の中に伝統的な能舞台を内包した建築形式を持ち、「造形の規範」として評価されたものです。

能舞台を覆う建物(鞘堂)は、昭和48年に竣工し、その後、耐震補強工事を兼ねた大規模改修工事により内装外観を一新し、昨年3月に新装開場しました。





探究的な学習



区では、独自の特色ある教育「市民科」の中で探究的な学習を扱っています。3年生以上の学年で実施している市民科一貫プランの中で、子どもたちが、探究課題をもち学習を進めています。

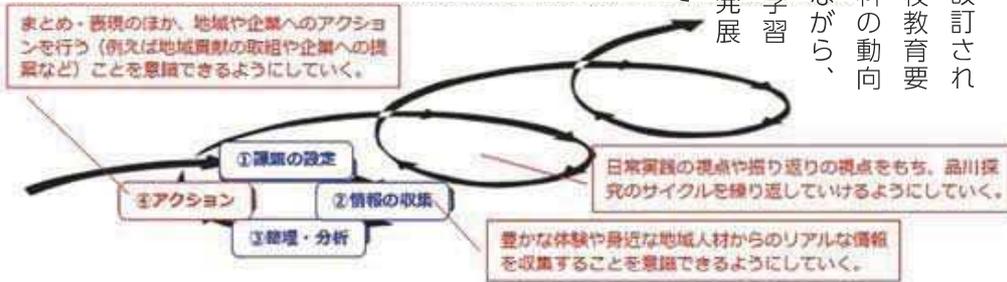
探究的な学習を進めるにあたっては、市民科学習や各教科での学びが基盤となります。日々の授業改善に取り組みとともに、探究的な学習の成果を市民科学習や各教科の学習意欲につなげるなど、相互の関連を図っていきます。

現在、区では市民科の改訂に向けた取組を進めており、その中で探究的な学習についても検討しています。令和8年度からは、探究的な学習をより一層推進するために、品川探究サイクル(仮)に基づき、各学校で探究的な学習の質的向上を図っていきます。品川探究サイクル(仮)では、豊かな体験や身近な地域人材からのリアル

な情報を収集したり、地域貢献や企業等への提案など実践につなげたりする取組を行い、これまで市民科で大切にしてきた視点を生かしています。

今後、改訂される区立学校教育要領や市民科の動向を踏まえながら、探究的な学習の充実・発展を支援していきます。

【品川探究サイクル(仮)】



品川区固有教員について

固有教員は令和7年度現在で33名おり、品川区の教育のリーダーとして区立学校で活躍しています。区独自で採用している教員であるため、東京都の人事異動に左右されることなく継続的な教育活動を展開・保障し、不断の教育改革を推進することに繋がっています。

区では、令和7年度に新たな固有教員の職として「統括副校長」および「指導教諭」を設置し、現在統括副校長が1名、指導教諭が2名活躍しています。

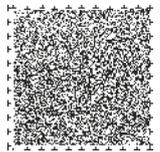
統括副校長の職務級は校長と同格の6級職ではありますが、独自の役割があり、全固有教員のリーダーとして固有教員の指導育成、区の教育要領で定めた教育活動の推進や、区の独自施策立案の中心的な役割を担っています。

指導教諭は主幹教諭と同格の4級職として、学習指導において高い専門性を有し、他の教員に対し

て模範授業および公開授業を実施し、個々の教員が自ら成長しようとする意欲を引き出すことに貢献しています。

これまでの固有教員のキャリアプランは、最高位が5級職の副校長であり、4級職は主幹教諭しかありませんでした。しかし、今年度からは東京都採用の教員と同様のキャリアプランを描くことができるようになり、教員として働く上での選択肢が広がりました。

区では、今後も固有教員の採用や指導育成を行い、教育の一層の充実を図っていきます。



しながわ地域 TEAM ACT アート部設立

「しながわ地域 TEAM ACT (地域部活動)」では、子どもたちに、学校部活動以外で運動や文化に触れることのできる場を提供することを目的として、区立学校の5～9年生の児童・生徒を対象に、これまで、運動部活動であるダンス部・ラグビー部・ホッケー部の活動を展開してきました。

そして、令和8年1月から新たに文化部活動として「アート部」を設立し、活動を開始しました。

【活動紹介】

◎活動期間 ※令和7年度

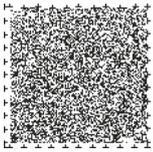
1月～3月

◎活動場所

品川健康センター

【活動の様子】

令和7年度の活動では、鉛筆絵画、塗り絵、切り絵等の2Dの作品、ペーパークラフトやレゴアートの3Dの作品制作に取り組み、活動の



まとめとして、活動した内容の中から興味をもったジャンルにそれぞれがより深くチャレンジする自由制作に取り組みました。

令和8年度からは、「品川文化祭ART!アート!あーと!」等の地域のイベントへ作品を出品し、活動成果の発表と交流を進めていきます。

今後も区の特徴を生かした子どもたちの豊かな活動機会の創出に取り組みしていきます。



子ども読書活動推進計画 (令和7年度～11年度)を策定しました

区では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「品川区子ども読書活動推進計画」を策定しています。

【計画の目的】

すべての子どもたちが、読書や本の活用等を通じて、豊かな感性を育み、実り多き人生を送る力を身につける。

【計画の目標】

社会の一層のデジタル化を踏まえ、子どもたちの読書活動を幅広く捉え、図書館・学校・家庭・地域が連携して、豊かな読書体験の機会を創出し、ウェルビーイングにつなげる。

本計画の担い手には、地域のみならずも含まれます。子どもたちの読書活動を推進するため、ご協力をお願いします。

計画の詳細は区ホームページをご覧ください。

区HPへのリンク



学校図書館と公共図書館は連携して子どもの読書活動を推進します

区立学校図書館と公共図書館のシステムがつながっていることをご存じですか。

学校の授業で本を使って調べものをする際、児童・生徒の必要数が揃わないときは、学校図書館の端末から公共図書館の本を予約して、週2回の配送便で取り寄せることができ、より多くの知識に触れて学習を進められます。

また、児童・生徒が公共図書館を見学・職場体験をしたり、公共図書館の職員が学校へ出向いて、おはなし会やブックトーク(本の紹介)をしたり、学校図書館と公共図書館は連携して、子どもたちの読書活動を推進しています。



▲ブックまくん&しおりちゃん

